第21回日本外来臨床精神医学会（JCOP）学術大会

個人のメンタルヘルスと組織のメンタルヘルス

―そのバランスのあり方を模索する試み―

Program

取得可能単位（申請中）
＊日本精神神経学会 精神科**専門医**B群 ３単位
＊日本医師会認定**産業医**　３単位

大会長講演

個人のメンタルヘルスと組織のメンタルヘルス

～臨床精神医学に必要なパラダイムシフトとは何か～

岩谷 泰志 先生（いわたにクリニック 院長）

シンポジウム・総合討論

臨床精神医学と労務問題，その包括的対応を考える

加藤 高裕 先生（浜松町メンタルクリニック 院長）

井田 高志 氏　（リファイン就労支援センター 代表理事）

小島 健一 氏　（鳥飼総合法律事務所・パートナー弁護士）

一般演題

「栃木県『六方沢橋』の自殺対策、転落防止柵について」 里村 淳 先生

「外来で死にたいと言われたら」 西松 能子 先生

日 時　2021年12月5日（日）　10：00～16：00

会 場　立正大学品川キャンパス　石橋湛山記念講堂

参加費　会員医師：10,000円　非会員医師：12,000円　医師以外：4,000円

開催方法　現地開催　定員300名

申込方法　裏面へ

申込方法

1）学会ホームページよりお申し込みください
URL：http://jcop.xsrv.jp/?cat=4　　こちらからアクセスできます➡
2）FAXの場合は、⇓参加申込書を03-5289-7290にお送りください

定員に達し次第、または11月17日（水）締切です

第21回日本外来臨床精神医学会（JCOP)学術大会　参加申込書			
氏　　名		種別	JCOP会員　非会員医師　医師以外
所　属　先			
連 絡 先 TEL		FAX	
メールアドレス	@		
産業医認定番号	あり（No.　　）	なし	

プログラム抄録

大会長講演

近年「完全な寛解とは」という議論が散見される．しかし，これは「寛解すれば就労可能である」という「疾病モデルに固執した認知」に基づく短絡的仮説から生じたテーマといえるだろう．臨床精神医学では，各ケースを様々な視点から分析し，現実的な解決法を見出すことが重要なのであり，操作的診断基準や学会提唱の治療ガイドラインに縛られない柔軟性が求められる．この講演では神経発達と気質という２つの軸からの分析メソッドを示したい．

シンポジウム・総合討論

大会長講演で提示した神経発達と気質による分析を前提に，①産業医業務と精神科医療の双方に従事する医師による現場からの報告，②就労支援センターにおける就労能力の育成を中心とするサポートの実際，③対応困難な職員に対して法律専門家として人事・労務に顧問として具体的な対応に従事されている現状などを，立場の異なる３名の講師の方々によって提示する．そして包括的なソリューションとは何かに関して，会場全員で模索する場としたい．

開催における注意事項

- 参加者への連絡はメールで行います。@jcop.xsrv.jpからのメールを受信できるよう設定してください。
- 感染状況等により、開催中止または一部内容を変更する場合があります。変更する場合は学会ホームページ（http://jcop.xsrv.jp/）でお知らせしますので、ご確認ください。
- 参加費は、当日会場でお支払いください。
- 当日、参加者には軽食を準備します。
- 定員は、会場定員の50%未満としております。
- 会場内での感染症対策にご協力ください。

会場案内図

【お問合せ先】　日本外来臨床精神医学会　事務局
〒101-0047　東京都千代田区内神田3-14-8 ﾆｼｻﾞﾜﾋﾞﾙ5階（あいクリニック神田内）
TEL/FAX：03-5289-7290　/　Mail：info@jcop.xsrv.jp　/　HP：http://jcop.xsrv.jp/